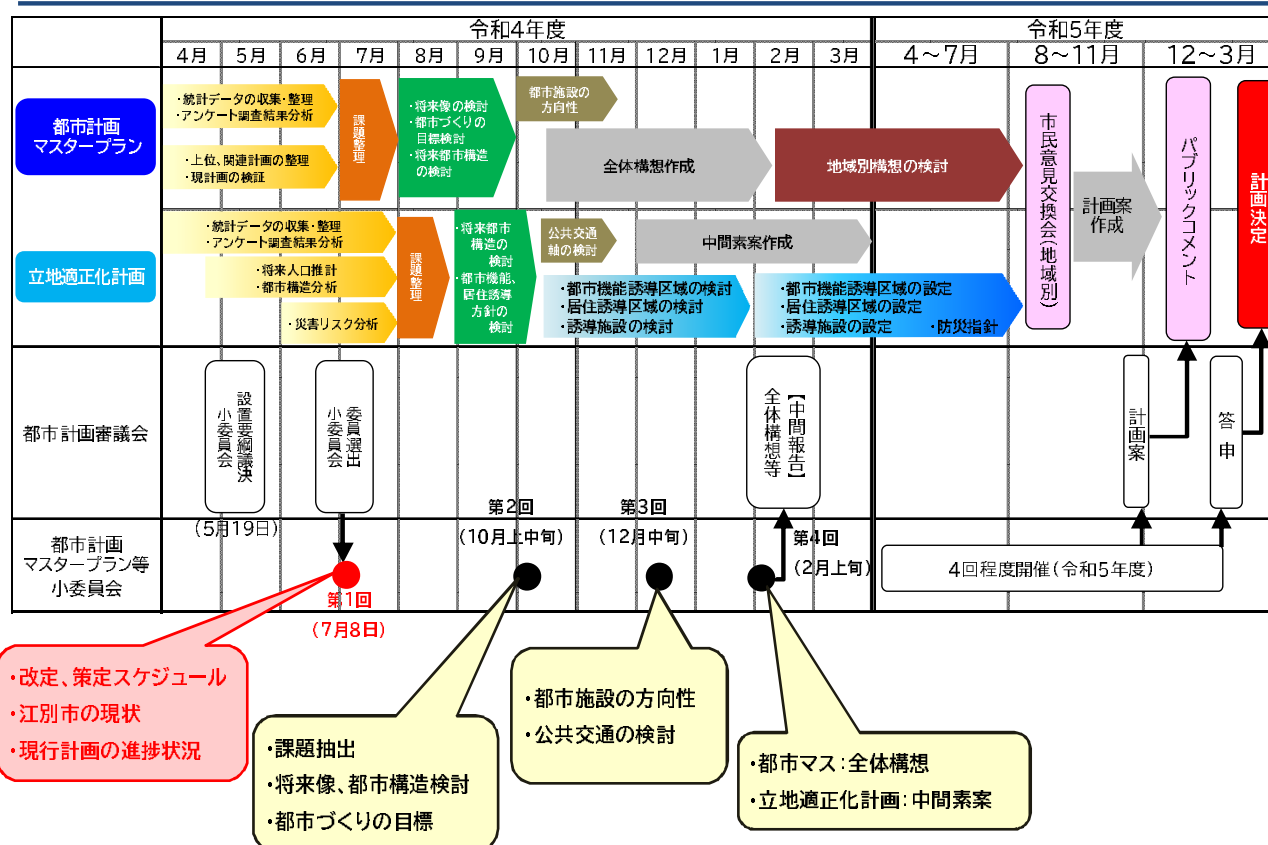


江別市都市計画マスタープラン～改定 江別市立地適正化計画～策定

1. 改定・策定の流れについて
2. 現行計画の概要
 1. 現行マスタープランの概要
 2. 立地適正化計画とは
3. 江別市の現状について
 1. 人口関連について
 2. 土地利用(住宅地)について
 3. 土地利用(商業地)について
 4. 土地利用(工業地)について
 5. 土地利用(市街化調整区域)について
 6. 現行都市計画マスタープランの実施状況
 7. まちづくり市民アンケート調査について

令和4年7月8日
第1回 小委員会

1. 改定・策定の流れ



2. 現行計画の概要

1. 現行マスタープランの概要

江別市都市計画マスタープランの将来都市像

みんなで作る未来のまち えべつ

【都市づくりの目標】

1. 駅を中心とした集約型都市構造

- (1) 成熟した質の高い都市づくり
- (2) 活力・魅力を持った都市づくり
- (3) 環境にやさしい都市づくり
- (4) 歩いて暮らせる都市づくり

2. 地域経済の活性化

- (1) 市内への企業立地
- (2) 戦略的・政策的企業誘致

3. 災害に強い安全・安心な都市環境

- (1) 災害に強い都市施設
- (2) 防災体制の充実

4. 江別市の特性を活かした魅力ある都市

- (1) 地域の資源・優位性を活かした都市づくり



2. 現行計画の概要

1. 現行マスタープランの概要

【都市づくりの 基本方針】

①土地利用の方針

- ・拠点、住宅地、幹線道路沿道地、工業地、市街地周辺部

②都市施設整備の方針

- ・道路・交通、水と緑、上下水道・供給処理施設、公共公益施設

③都市環境の方針

- ・都市防災、景観、環境

【地域別構想】

○江別地域

- ・江別駅周辺の歴史性や界索性、良好な河川環境などの特性を活かして地域の魅力を高めるとともに、交通環境における優位性を活かした地域づくりを進める

○野幌地域

- ・野幌駅周辺を「えべつ版コンパクトなまちづくり」における中心市街地として、地域の魅力を高めるとともに、交通環境などの優位性を活かした地域づくりを進める

○大麻・文京台地域

- ・少子高齢化や建物の老朽化などの課題に対応するとともに緑豊かで良好な住環境や交通環境の優位性を活かした地域づくりを進める

○豊幌地域

- ・豊かな自然環境や農村景観などに恵まれた特性を活かして地域の魅力を高めるとともに、継続的な治水対策による安全・安心な地域づくりを進める

○農村地域

- ・江別市の食料生産地として、農地の保全を基本としながら、良好な自然環境、農村景観や都市との近接、交通利便性などの優位性を活かした地域づくりを進める

2. 現行計画の概要

2. 立地適正化計画とは

【背景】

▼コンパクトなまちづくりの更なる推進

・江別の顔づくり事業をはじめ、各種インフラ整備などにより、コンパクトなまちづくりに向けた環境は整いつつある

▼ 将来にわたって都市の持続性を維持する必要がある

⇒ コンパクトなまちづくりをより強化し、
多様化する各地域の課題への対応が求められる

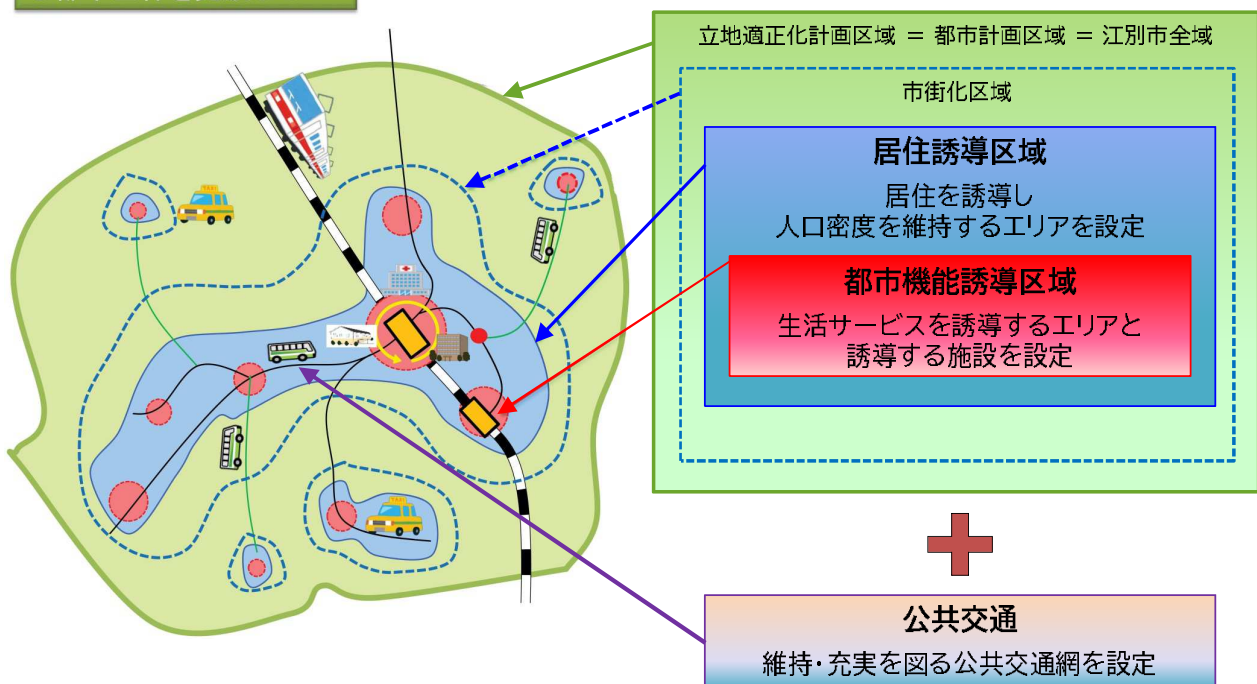
【計画の位置付け】

都市再生特別措置法第81条の規定に基づき、
住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図る
「マスタープランの高度化版」
同法第82条により、
「都市計画マスタープランの一部とみなす」

2. 現行計画の概要

2. 立地適正化計画とは

○都市全体を見渡して・・・



<出典:国土交通省資料を加筆修正>

3. 江別市の現状について

1. 人口関連について
2. 土地利用(住宅地)について
3. 土地利用(商業地)について
4. 土地利用(工業地)について
5. 土地利用(市街化調整区域)について
6. 現行都市計画マスタープランの実施状況
7. まちづくり市民アンケート調査について

令和 4 年 7 月 8 日

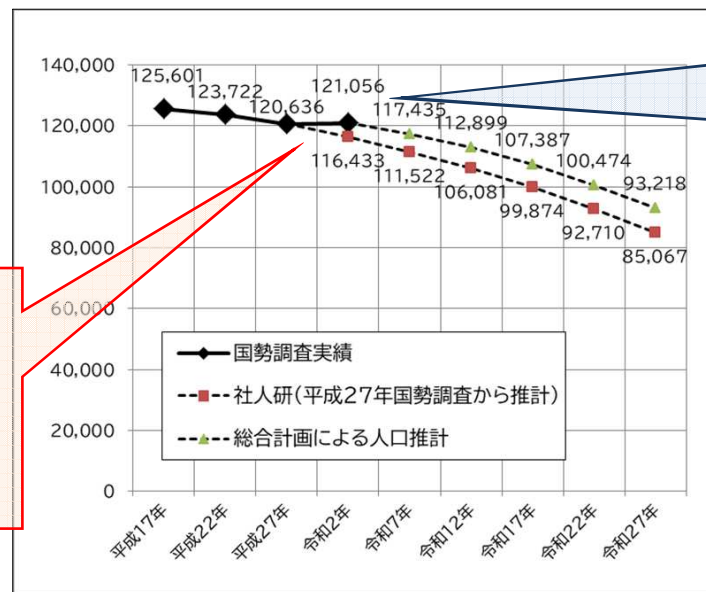
江別市企画政策部都市計画課

1. 人口関連について

<将来人口の推移>

国立社会保障・人口問題研究所と江別市推計の比較

社人研による人口推計は、平成27年国勢調査を使用したものが最新



江別市による人口推計は、令和2年国勢調査を反映

資料：実績値 国勢調査
推計値 日本の地域別将来推計人口／国立社会保障・人口問題研究所(平成30年)
第7次江別市総合計画策定に係る将来人口推計(令和4年5月)

1. 人口関連について

<将来人口の推移>

国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)と江別市推計の比較

- ・ 社人研による推計は、平成27年国勢調査を使用したものが最新
- ・ 人口が増加した令和2年の国勢調査が反映されていない。

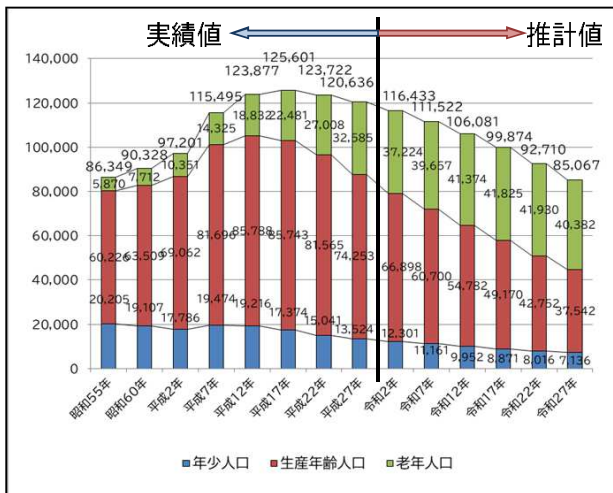


社人研が行う人口推計を参考としながらも、これまでの国勢調査の結果を活用した、より現実的な人口推計である江別市推計を用いることとする

1. 人口関連について

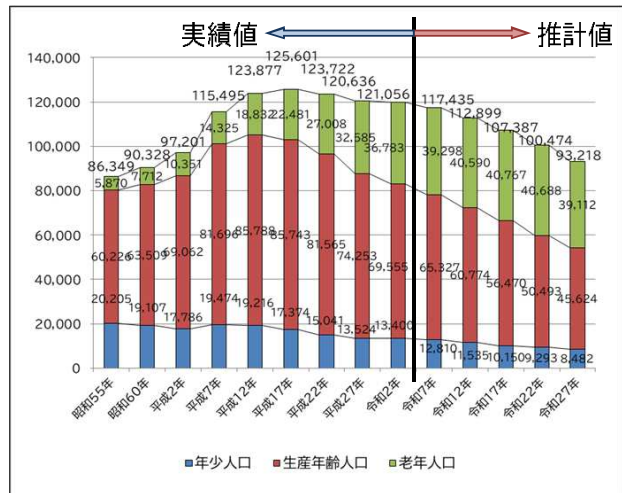
<将来人口の推移>

社人研による人口推計



資料：実績値 国勢調査
推計値 日本の地域別将来推計人口／国立社会保障・人口問題研究所(平成30年)

江別市推計による人口推計



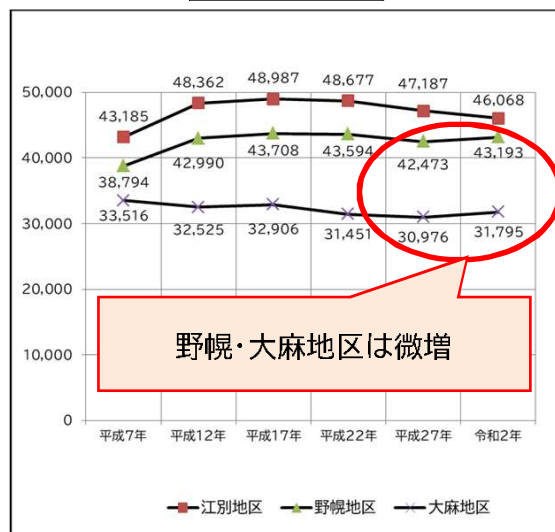
資料：実績値 国勢調査
推計値 第7次江別市総合計画策定に係る将来人口推計(令和4年5月)

- ・年齢3区分とも同じような減少傾向といえる。
- ・令和27年においては、約8,000人の差となる。
- ・江別市推計の方が年少人口と生産年齢人口は多く、老年人口は少ない。

1. 人口関連について

<地区別人口・世帯数の推移>

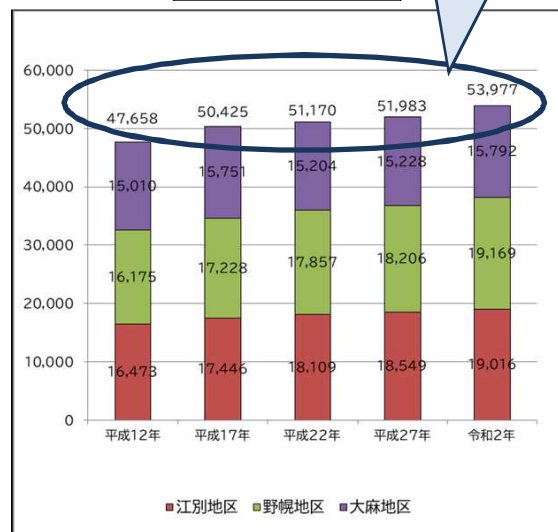
地区別人口



資料：国勢調査

世帯数は年々増加傾向

地区別世帯数



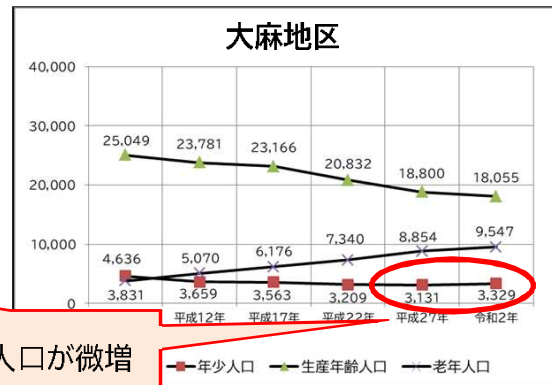
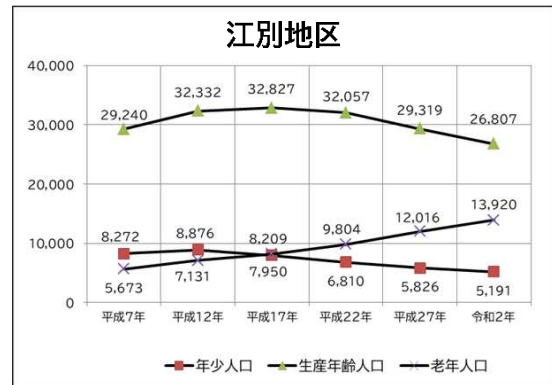
資料：国勢調査

- ・地区別人口について、野幌・大麻地区は近年微増、江別地区は減少。
- ・地区別世帯数について、総数は年々増加傾向であり、各地区別としても近年は増加傾向にある。

1. 人口関連について

<年齢3区分別人口の推移>

資料：国勢調査



年少人口が微増

1. 人口関連について

<年齢3区分別人口の推移>

江別市の年齢3区分人口の推移

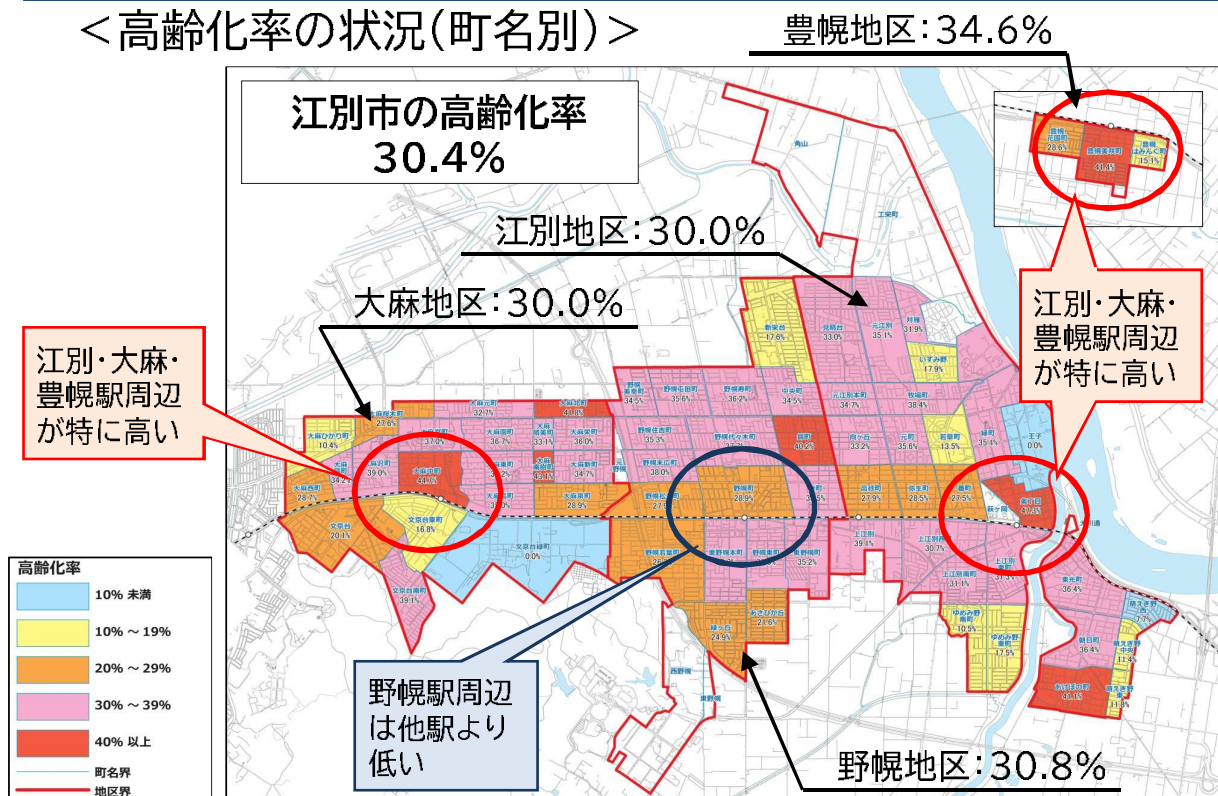
- ・ 生産年齢人口が減少、老年人口が増加している。
- ・ 年少人口についても減少傾向であるが、平成27年から令和2年は減少数が抑えられている。

各地区の推移

- ・ 各地区共通で生産年齢人口が減少、老年人口が増加している。
- ・ 年少人口については、野幌地区・大麻地区で近年微増である。

1. 人口関連について

<高齢化率の状況(町名別)>



1. 人口関連について

<高齢化率の状況(町名別)>

江別市の高齢化の状況

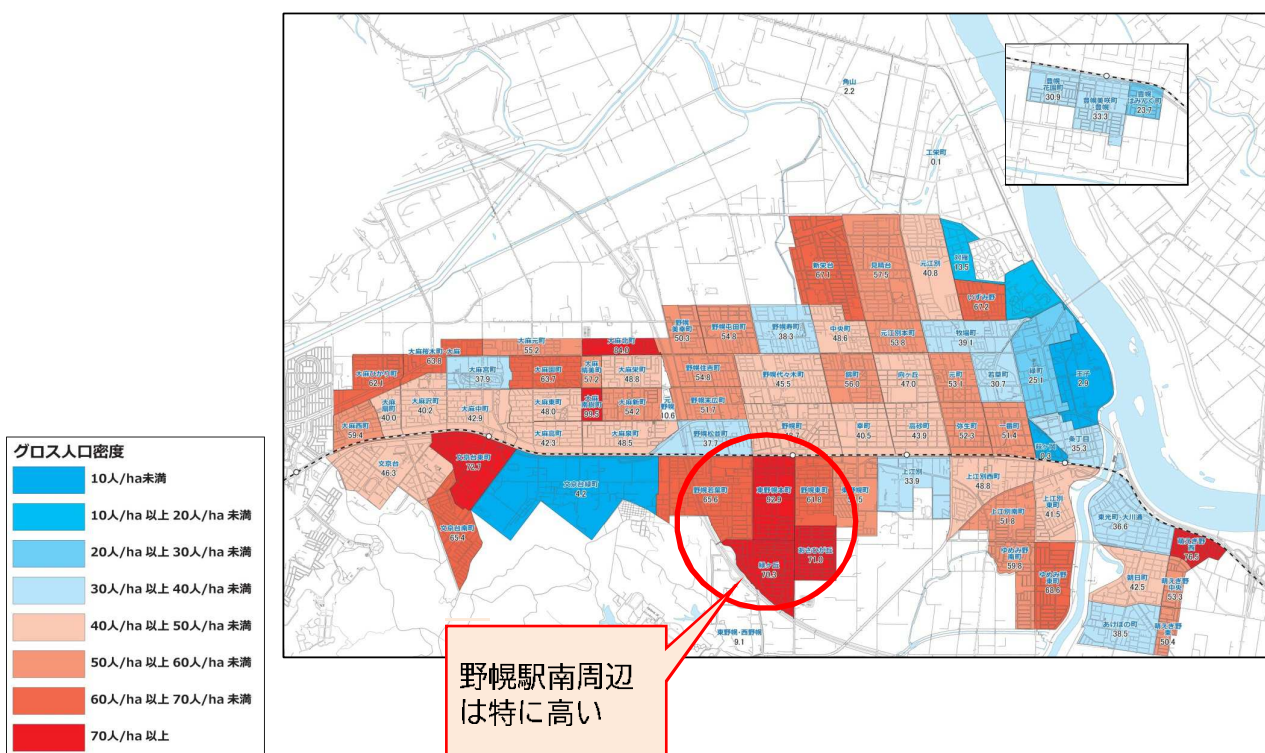
- ・ 江別市全体では30.4%と高い数値を示している。
- ・ 平成22年は21.8%であり、この10年で高齢化は進行している。
- ・ (参考) 令和2年国勢調査より、全国は28.6%、北海道は32.2%

各地区の比較

- ・ 豊幌地区は若干高いものの、各地区での差はあまりない。
- ・ 江別、大麻、豊幌駅周辺は特に高い数値を示している。
- ・ 一方、野幌駅周辺は抑えられている。

1. 人口関連について

<人口密度の状況(町名別)>



1. 人口関連について

<人口密度の状況(町名別)>

江別市の人口密度の状況

- ・ 大規模な公園や大型店舗などにより低めの町も散見されるが、概ね40人/ha以上の町が多い。
- ・ 平成4年頃から市街化区域編入に併せて施行した土地区画整理事業の地区は、概ね高い数値を示している。(P12宅地開発関連図参照)

各地区の比較

- ・ 野幌駅南周辺は特に人口密度が高い。

➤ 第2回小委員会で、より詳細な人口密度を提示予定

1. 人口関連について

<人口比較(平成27年と令和2年)>

豊幌地区:▲50人

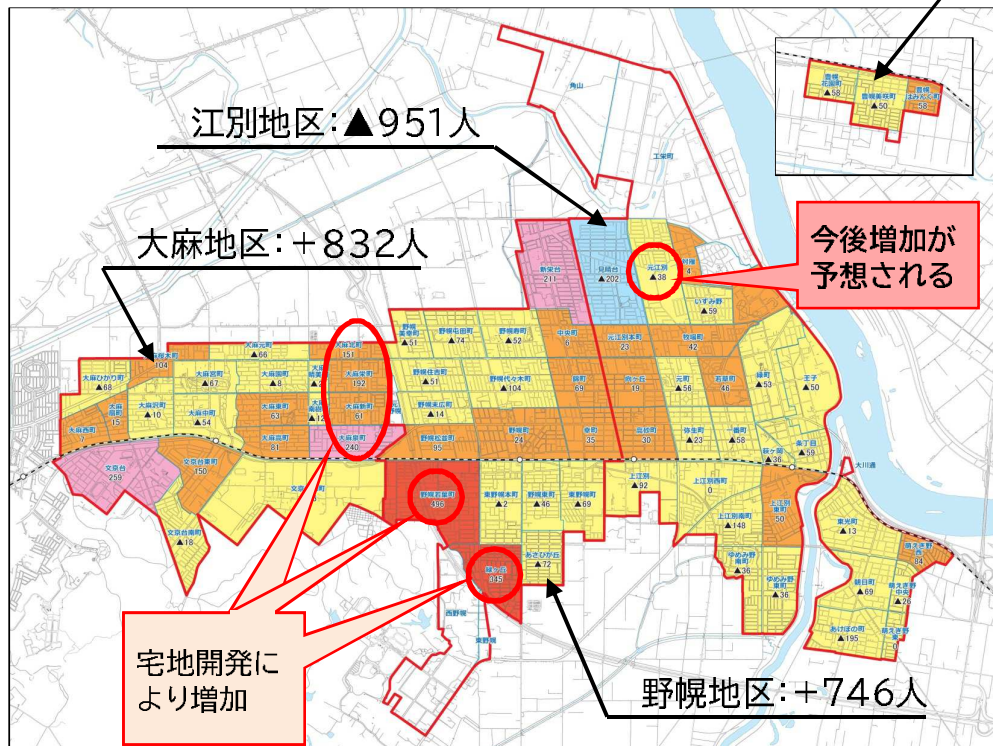
江別地区:▲951人

大麻地区: +832人

今後増加が
予想される

宅地開発に
より増加

野幌地区: +746人



1. 人口関連について

<人口比較(平成27年と令和2年)>

令和2年国勢調査による北海道内での江別市の状況

- ・市町村別で、札幌・旭川・函館・苫小牧・帯広・釧路に次ぐ第7位。
- ・人口が増加した市町村別では、札幌・千歳・恵庭に次ぐ第4位。
- ・(参考)北海道は、平成27年5,381,733人から
令和2年5,224,614人で、157,119人減少している。

江別市の人口比較の状況

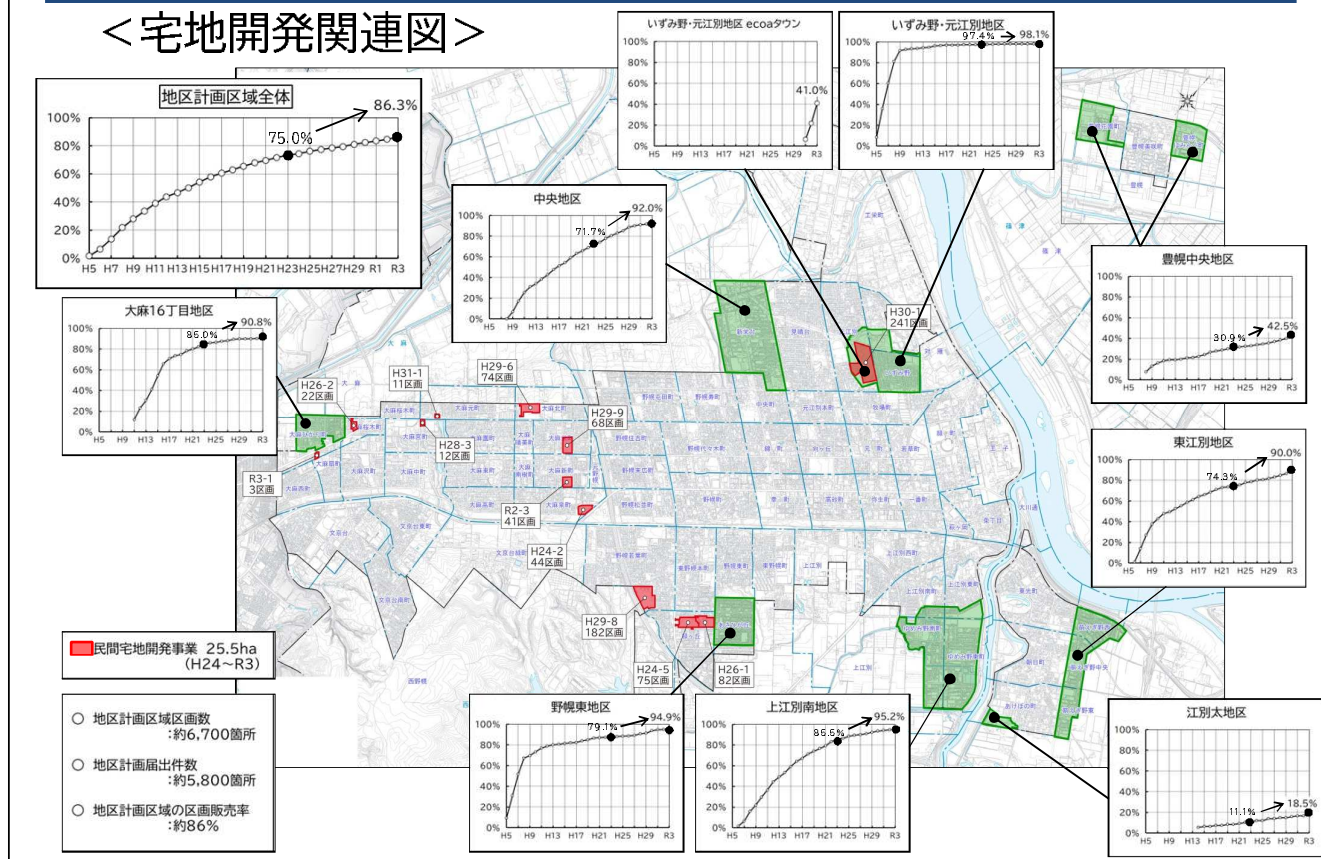
- ・江別市全体では、平成27年120,636人から令和2年121,056人で、420人増加している
- ・近年の民間宅地開発事業を施行した箇所は特に増加している。

各地区の比較

- ・野幌、大麻地区は人口が増加している。
- ・一方、江別、豊幌地区は人口が減少している。

2. 土地利用(住宅地)について

<宅地開発関連図>



2. 土地利用(住宅地)について

<宅地開発関連図>

江別市の宅地開発の状況

- ・ 地区計画全体としては、10年前の75.0%から86.3%に増加。
- ・ 概ね90%を超えており、住宅が張り付いている。
- ・ 民間宅地開発事業による区画は概ね完売している。

各地区の比較

- ・ 野幌、大森地区は、概ね住宅が張り付いている。
- ・ 豊幌地区は近年、住宅件数が増えてきている。

2. 土地利用(住宅地)について

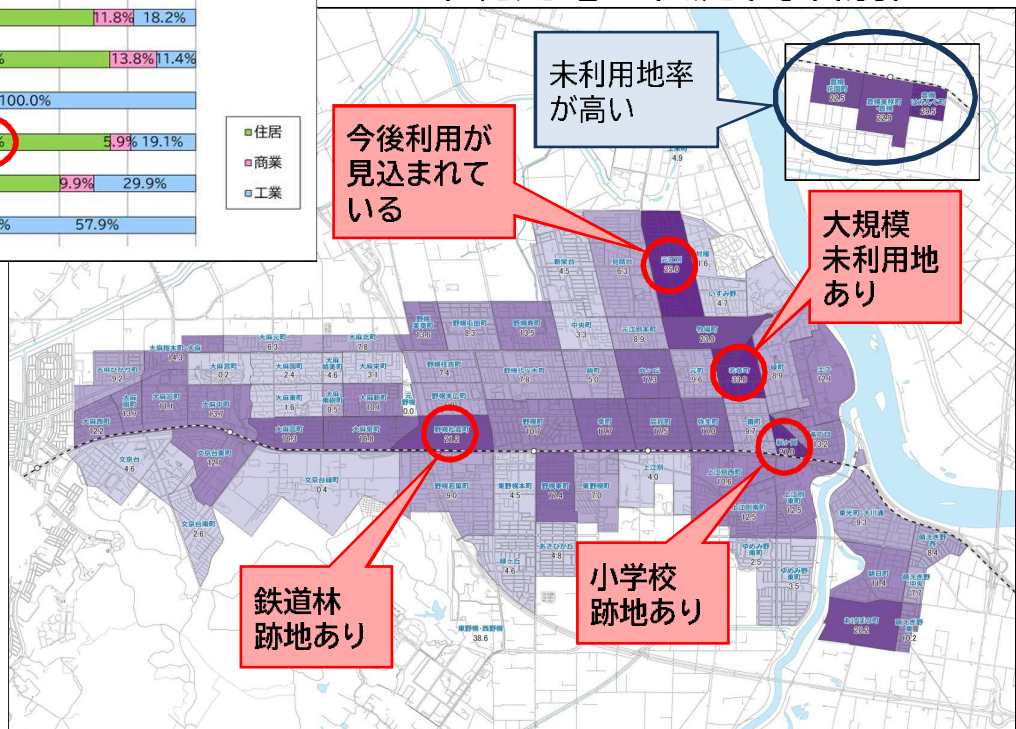
< 札幌圏の用途地域構成 >



住居系の比率が高い



< 未利用地の状況(町名別) >



2. 土地利用(住宅地)について

< 札幌圏の用途地域構成 >

江別市の用途地域構成

- ・ 札幌圏の中では住居系が75.0%と最も高い住宅都市である。

< 未利用地の状況(町名別) >

江別市の未利用地の状況

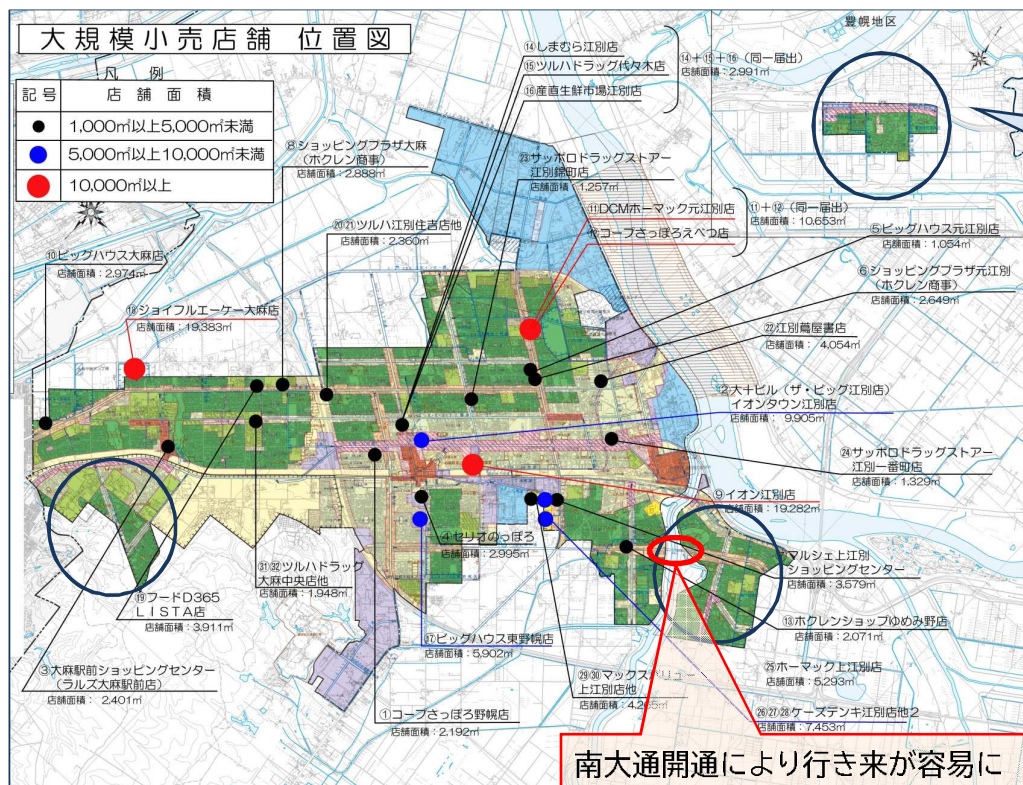
- ・ 10年前と比較し、全体的に未利用地率は低くなっている。

各地区の比較

- ・ 野幌、大麻地区は、未利用地率は低くなっている。
- ・ 現在、未利用地率が高い(利用されていない)箇所が、江別地区に点在している
- ・ 豊幌地区は全体的に、未利用地率が高くなっている。

3. 土地利用(商業地)について

<大規模小売店舗 位置図>



3. 土地利用(商業地)について

<大規模小売店舗 位置図>

江別市の大規模小売店舗の状況

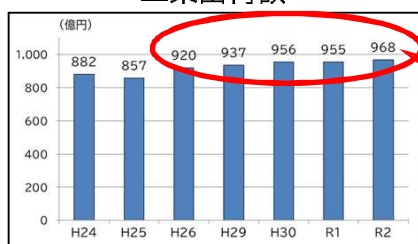
- ・ 10年前と比較し、大規模小売店舗数は21店舗から24店舗に増加している。
- ・ 概ね市内各所に点在している。

各地区の比較

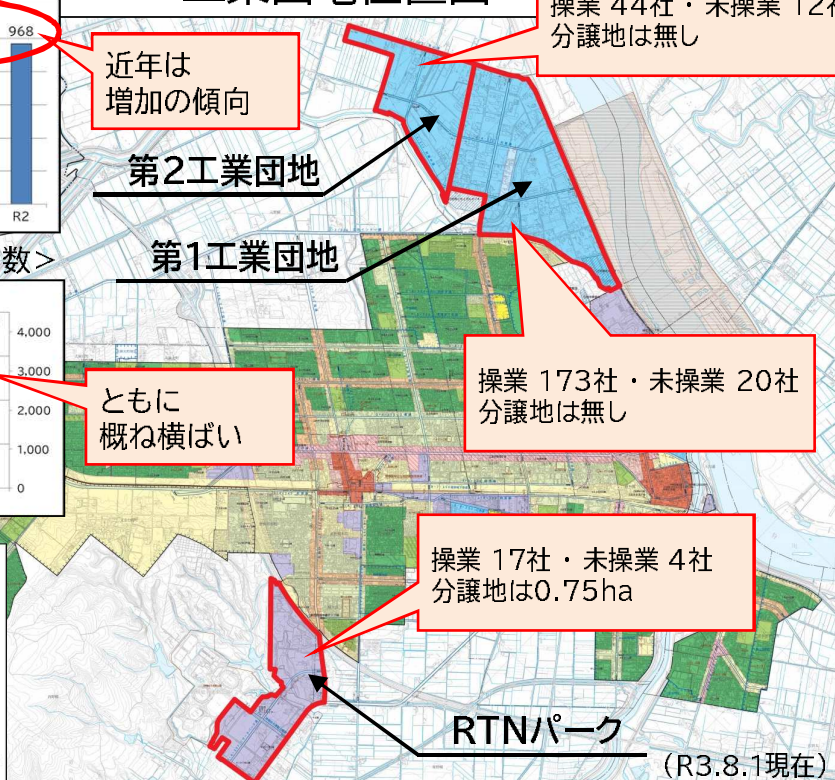
- ・ 中心市街地である野幌周辺には商業が集積されている。
- ・ 豊幌地区は、大規模小売店舗の配置が薄い。

4. 土地利用(工業地)について

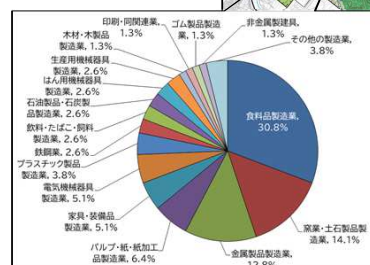
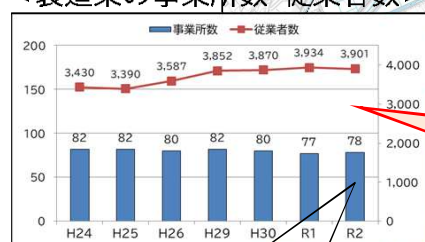
<工業出荷額>



<工業団地位置図>



<製造業の事業所数・従業者数>



4. 土地利用(工業地)について

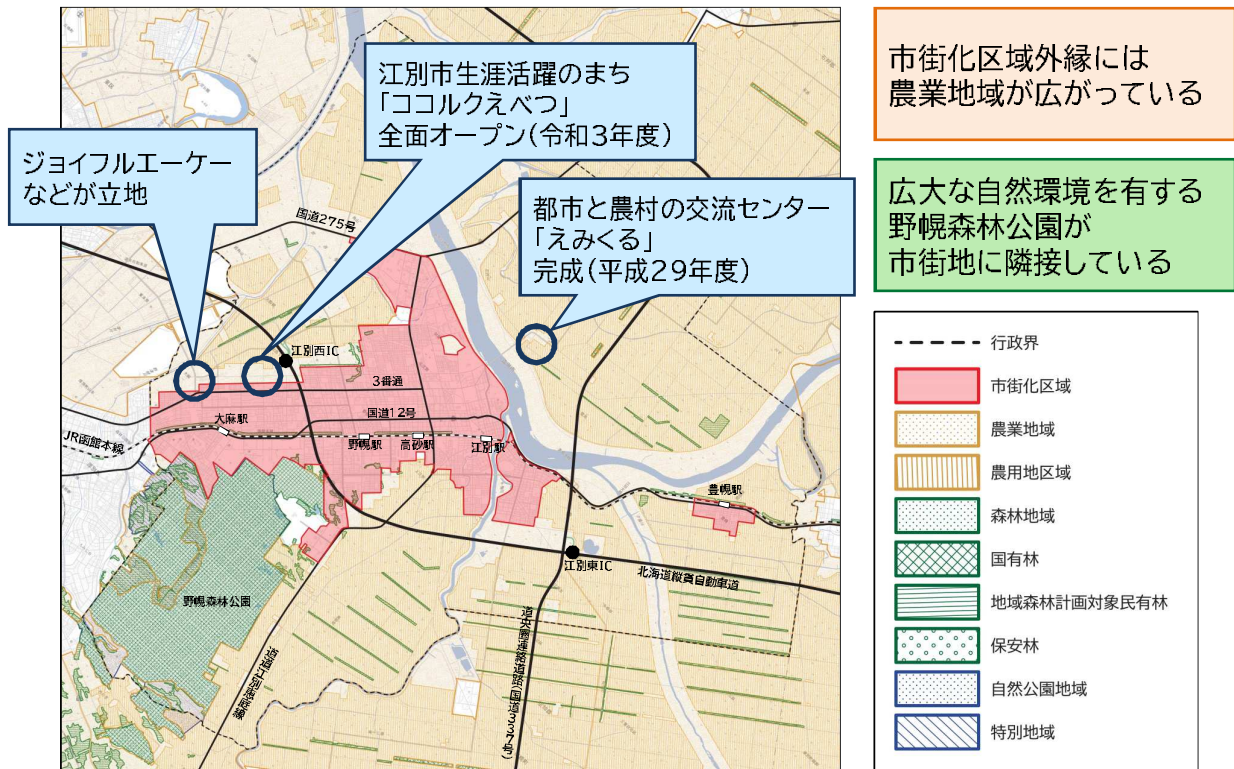
<工業団地について>

江別市の工業団地の状況

- ・ 第1工業団地、第2工業団地とも概ね操業され、分譲地は無い状況。
- ・ RTNパークも概ね操業され、分譲地は0.75haと少ない。
- ・ 工業出荷額は、近年増加の傾向を示している。
- ・ 製造業の事業所数・従業者数はともに概ね横ばいである。
- ・ 製造業の種別では、食料品が最も多く、窯業・土石製品、金属製品と続いている。

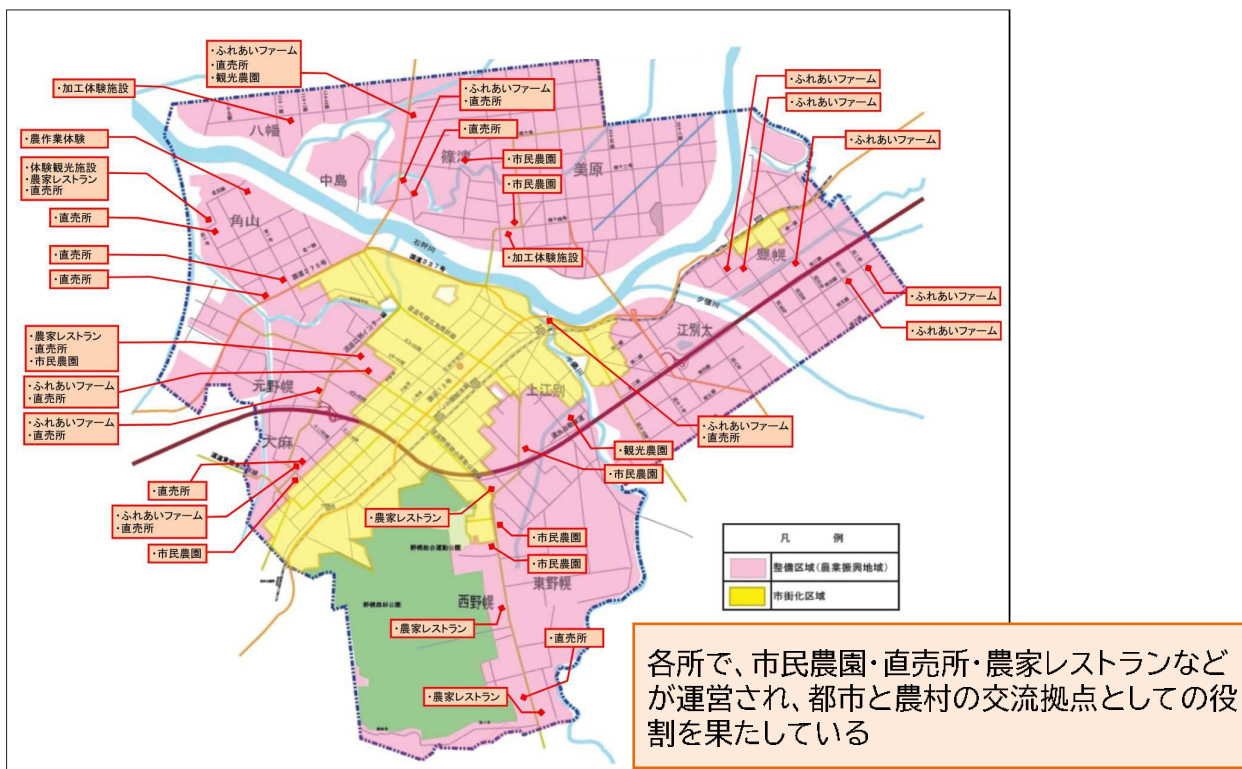
5. 土地利用(市街化調整区域)について

<土地利用計画図>



5. 土地利用(市街化調整区域)について

<農作業体験施設等現況図>



■ 人口関連について

～人口関連まとめ～

- 令和2年の国勢調査では、平成27年から、420人増加の121,056人であった
- 老年人口は増加し、高齢化率は上昇しているが、一方で、近年は年少人口について微増である
- 人口推計は、社人研と江別市推計のうち、より現実的な江別市推計を用い、令和27年には93,000人程度まで減少する
- 令和27年には、生産年齢人口は69,000人から45,000人、年少人口は13,400人から8,400人まで減少する推計である
- 近年の人口増加の流れを維持し、若年・子育て世帯などの定住人口の増加につながるような取組みが求められている

■ 土地利用について

～土地利用まとめ～

- 近年、住宅の需要が高まり、土地区画整理や民間宅地開発地区に住宅が張り付き、年少人口を含めた人口増加に繋がっていると考えられるため、この流れを維持する取組みが必要
- 全体的に未利用地は少ないが、一方で、数少ない大規模未利用地を今後どのように土地利用していくかの検討が必要
- 商業施設は市内各所に点在しており、今後の都市づくりとして産業振興を踏まえた土地利用のあり方などの検討が必要
- 工業団地は概ね操業されており、分譲地はRTNパークのごくわずかであるため、今後の土地利用に対する検討が必要
- 東西インターチェンジ周辺は、産業振興やまちの魅力の向上につながる土地利用の可能性への検討が必要

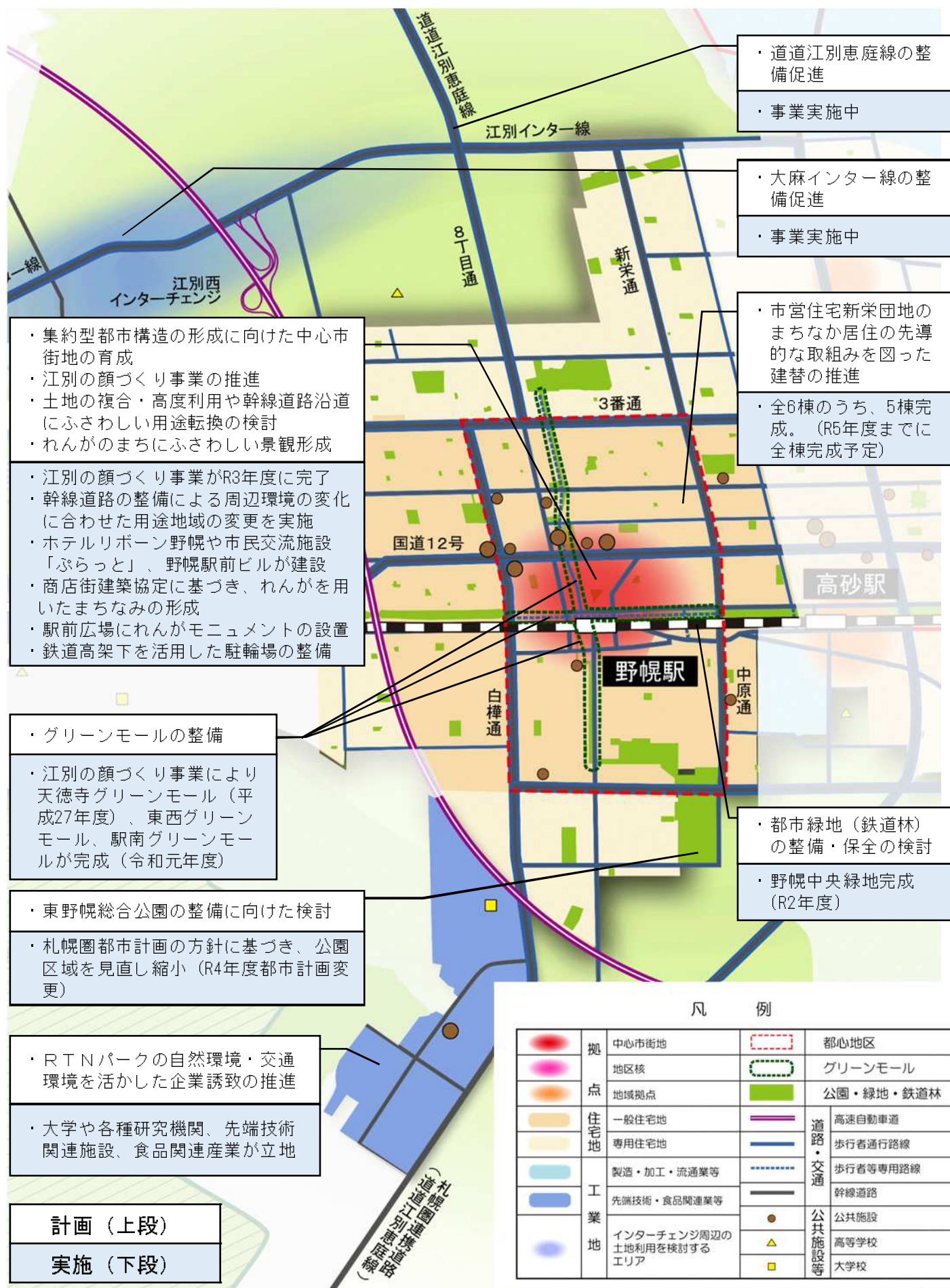
現行都市計画マスタープランの実施状況

(1) 江別地域



現行都市計画マスタープランの実施状況

(2) 野幌地域



現行都市計画マスタープランの実施状況

(3) 大麻・文京台地域

・空き家の有効活用、住みかえなどによる住環境活性化の推進

・空家等対策計画の策定(H29年度)
・江別市生涯活躍のまち「ココルクえべつ」全面オープン(R3年度)
・住宅取得支援事業の実施(平成28年～令和元年度)

・流通業務地、産業振興やまちの魅力の向上に寄与する土地利用の検討

・地区計画の策定により、ジョイフルエーカーなどが立地

・大麻インター線の整備促進
・事業実施中

大麻インター線

江別西
インターチェンジ

3番通

国道12号

森林公園駅

大麻駅

・大麻地域・文京台地域の特性に応じた地区核の形成

・大麻地域と文京台地域を結ぶ大麻駅跨線人道橋架け替えの検討
・大麻体育館耐震改修の実施(H28, H29年度)

野幌森林公園

・野幌森林公園の保全・活用
・林野火災の予防の組織的な対策

・野幌森林再生プロジェクトの実施

凡 例

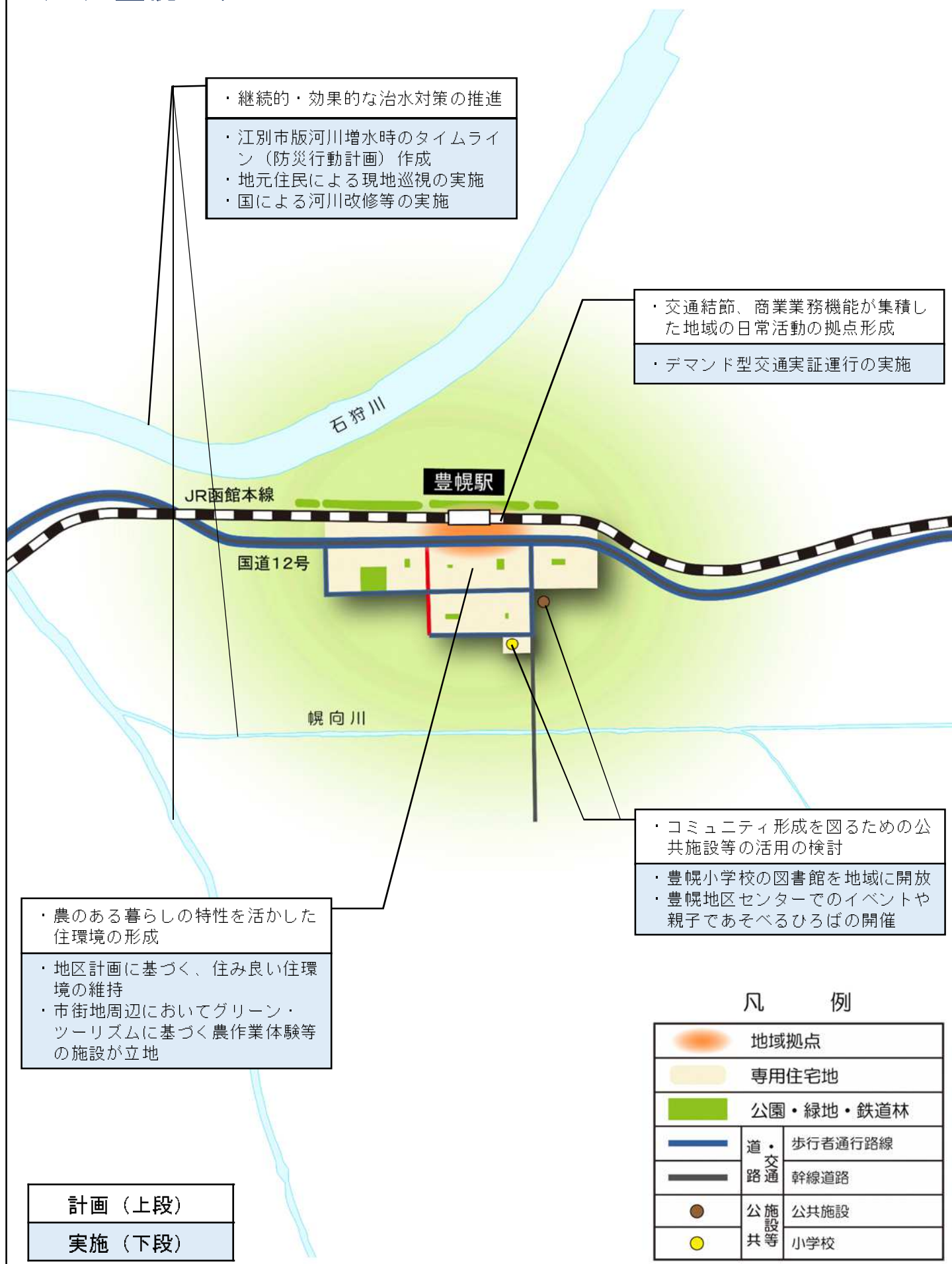
	拠点	中心市街地		文教地区
	地区核			公園・緑地・鉄道林
	地域拠点			野幌森林公園
	住宅地	一般住宅地		道路・交通
	住宅地	専用住宅地		高速自動車道
	工業地	製造・加工・流通業等		歩行者通行路線
	工業地	先端技術・食品関連業等		歩行者等専用路線
	工業地	インターチェンジ周辺の土地利用を検討するエリア		幹線道路
	酪農学園大学等用地			公共施設
				高等学校
				大学校

計画(上段)

実施(下段)

現行都市計画マスタープランの実施状況

(4) 豊幌地域



現行都市計画マスタープランの実施状況

(5) 農村地域

農村地域の特性を活かした農業展開と都市部との交流促進

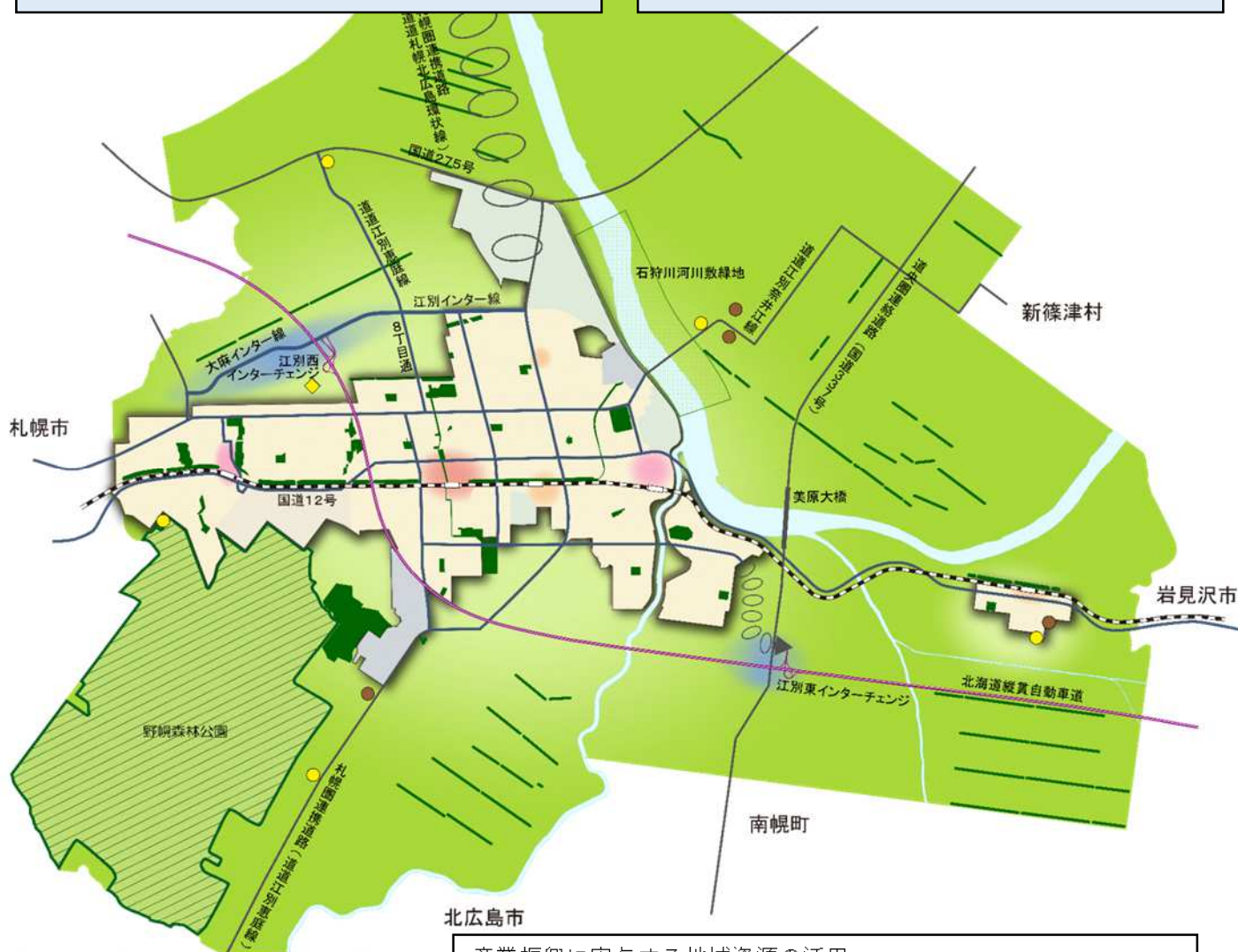
- ・優良農地の保全と都市型農業の推進
- ・都市と農村の交流を促進する土地利用の検討

- ・都市と農村の交流センター「えみくる」完成(H29年度)
- ・農村滞在型余暇活動機能整備計画に基づき、32件の農作業体験施設等が展開。
- ・第4次江別市農業振興計画の策定(H30年度)
- ・都市と農村交流事業の推進

豊かな自然環境の保全と調和した都市景観の形成

- ・田園風景、野幌森林公園、河川環境など、自然環境、農村環境の保全
- ・都市部と農村部の連続性に配慮した景観形成
- ・土地利用を行う場合の周辺環境への配慮

- ・都市景観賞の開催、都市景観フォトコンの開催、景観パンフレットの作成
- ・保存樹木の指定による緑の保全
- ・市民団体によるノハナショウブの保存活動
- ・周辺環境と調和した「えみくる」の建設



凡 例

	インターチェンジ周辺の土地利用を検討するエリア
	公園・緑地・鉄道林 ・耕地防風林
	道 歩行者通行路線
	路 幹線道路
	交 通 ルート未定
	公 共・公益施設
	小 学 校
	中 学 校

産業振興に寄与する地域資源の活用

- ・フード特区の指定による農業と食関連産業・大学・研究機関などとの連携を視野に入れた土地利用の検討
- ・インターチェンジ周辺・近傍地の戦略的な土地利用の検討
- ・野幌森林公園に隣接する周辺市街地や自然環境教育などの活用

- ・インターチェンジ周辺に流通業務施設が立地
- ・RTNパークに食品関連産業の立地の促進
- ・野幌森林づくり塾の開催(林野庁)

計画 (上段)

実施 (下段)

江別市まちづくり市民アンケート調査について

令和 4 年 7 月 8 日
江別市企画政策部都市計画課

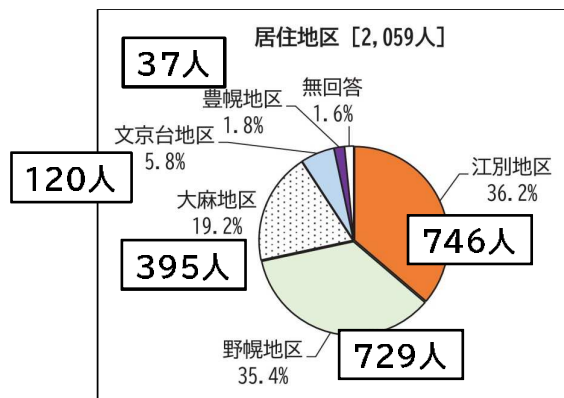
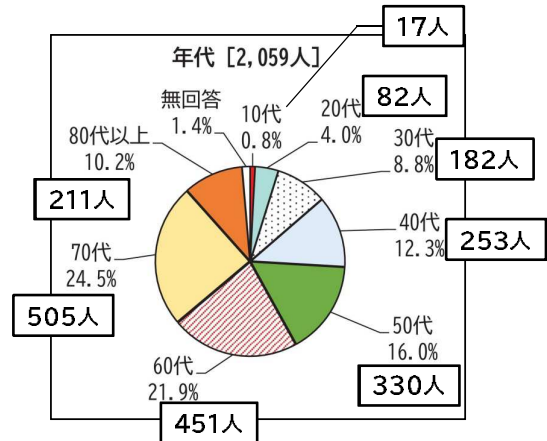
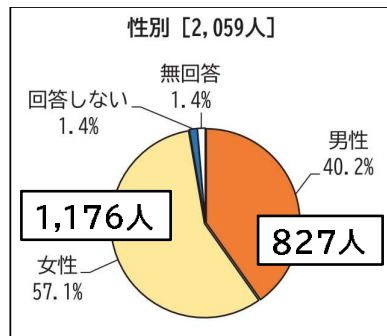
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<調査の概要>

調査の対象	江別市内に住む18歳以上の方を対象に、 5,000人を無作為に抽出	
配布・回収方法	郵送にて配布、回収	
実施期間	令和3年(2021年)10月6日(水)～10月31日(日)	
回収数及び 有効回答数	配布数	5,000票
	有効回答数	2,059票
	有効回答率	41.2%

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<回答者の属性>



■ まちづくり市民アンケート調査結果について

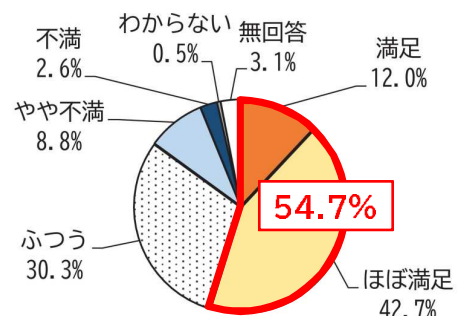
<設 問>

問1 あなたは、江別市の住み心地についてどう思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 満足 | 2. ほぼ満足 | 3. ふつう |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | 6. わからない |

<調査結果>

問1 江別市の住み心地について [2,059人]



- 「満足(12.0%)」と「ほぼ満足(42.7%)」の合計は
54.7% ⇒ 回答者の過半数は“満足”
- 「やや不満(8.8%)」と「不満(2.6%)」の合計は11.4%
⇒ “不満”を感じている人は約1割

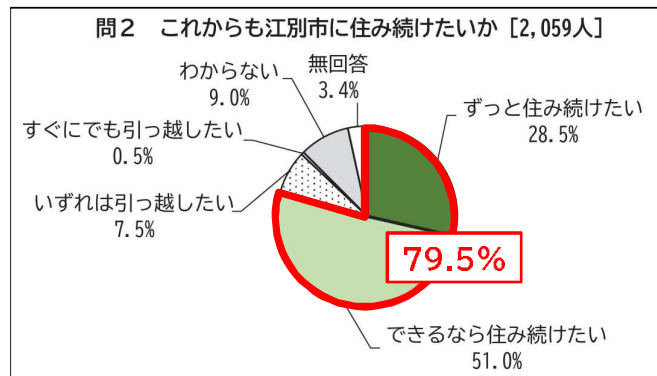
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

問2 あなたは、これからも江別市に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. できるなら住み続けたい |
| 3. いずれは引っ越したい | 4. すぐにでも引っ越したい |
| 5. わからない | |

<調査結果>



➤ 「ずっと住み続けたい(28.5%)」と「できるなら住み続けたい(51.0%)」の合計は79.5%

⇒ 回答者の**約8割**が“**定住意向**”

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

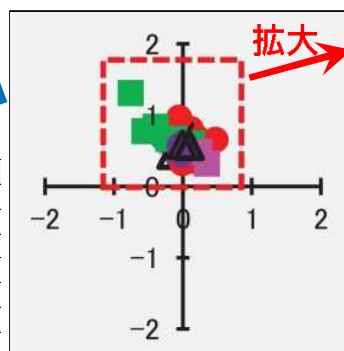
問3 毎日の暮らしの中で、江別市の生活環境や行政サービスなどに満足していますか。また、それらについて今後江別市が取り組むにあたり、どのくらい重要だとお考えですか。次の各項目について、あなたのお考えにいちばん近い「現在の満足度」の数字と「今後の重要度」のアルファベットを、それぞれ1つずつ選んで○印を付けてください。

質問項目: 47項目(6分類)

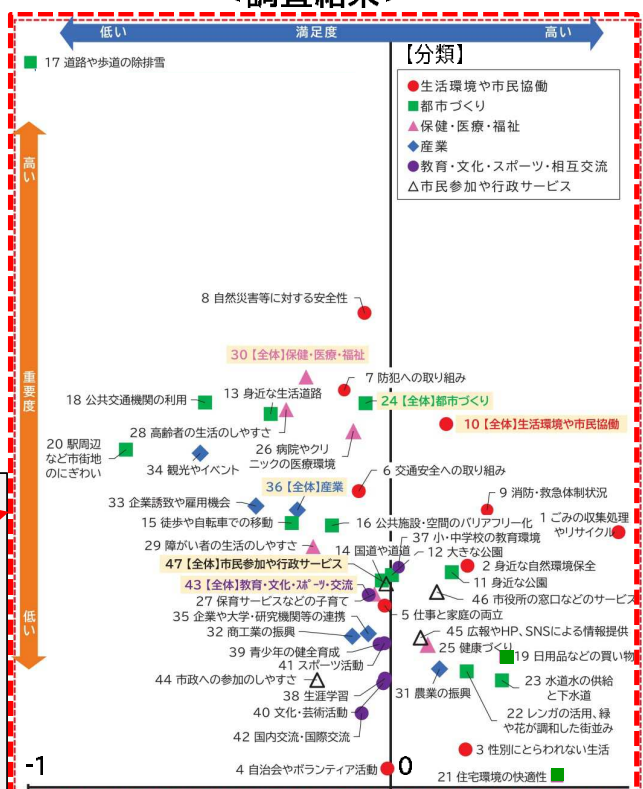
質問項目	現在の満足度						今後の重要度					
	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満	わからない	力を入れてほしい	できれば力を入れてほしい	今のままでよい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない	わからない
(1) ごみの収集処理や...	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E	F
(2) 身近な自然環境保全...	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E	F
...												
(47) 「市政への参加...	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E	F

得られた回答から
「満足度」と「重要度」を
点数化し、項目ごとに
平均値をマッピング

満足度	重要度	点数
とても満足	力を入れてほしい	+2
やや満足	できれば力を入れてほしい	+1
ふつう	今のままでよい	0
やや不満	あまり力を入れる必要はない	-1
とても不満	力を入れる必要はない	-2
わからない	わからない	0



<調査結果>



■ まちづくり市民アンケート調査結果について



【満足度が**高い**】

- 「身近な公園の整備状況」
- 「日用品の買い物のしやすさ」
- 「住宅環境の快適性」
- 「レンガの活用や緑・花が調和した街並み」
- 「水道水の供給と下水道の整備状況」

【満足度が**低い**】

- 「身近な生活道路の整備状況」
- 「徒歩や自転車での移動のしやすさ」
- 「公共施設や公共空間のバリアフリー化」
- 「道路や歩道の除排雪」
- 「公共交通機関の利用のしやすさ」
- 「駅周辺など市街地のにぎわい」

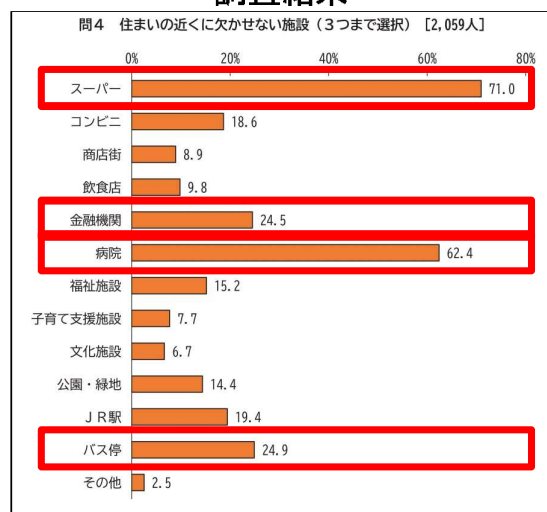
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

問4 今後の暮らしにおいて、お住まいの近くに欠かせないと思う施設を3つまで選んで番号に○印付けてください。

- | | | | |
|-------------|-----------|---------|------------|
| 1. スーパー | 2. コンビニ | 3. 商店街 | 4. 飲食店 |
| 5. 金融機関 | 6. 病院 | 7. 福祉施設 | 8. 子育て支援施設 |
| 9. 文化施設 | 10. 公園・緑地 | 11. JR駅 | 12. バス停 |
| 13. その他 () | | | |

<調査結果>



- 「スーパー(71.0%)」が最も高く、「病院(62.4%)」が2番目に高い割合
- 次に高いのは「バス停(24.9%)」、「金融機関(24.5%)」

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

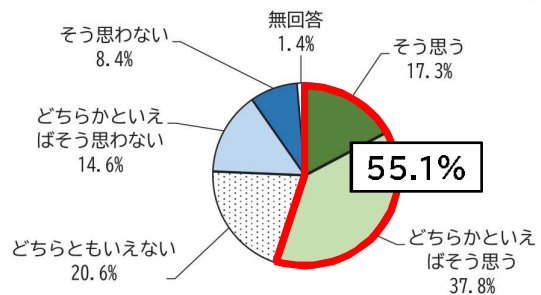
<設 問>

問5 江別市は、中心市街地である野幌駅をはじめとするJR各駅周辺や国道12号の沿道に商業施設や病院、銀行等の便利施設が集まる、コンパクトで住みやすい環境になっていると思いますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

<調査結果>

問5 コンパクトで住みやすい環境になっていると思うか [2,059人]



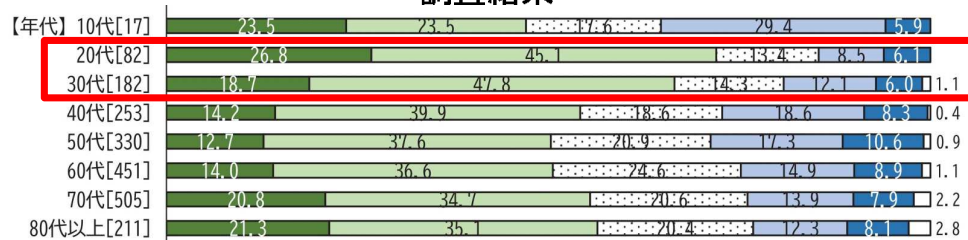
- 「そう思う(17.3%)」と「どちらかといえばそう思う(37.8%)」の合計は55.1% ⇒ **肯定的な意見が過半数**
- 「どちらかといえばそう思わない(14.6%)」と「そう思わない(8.4%)」の合計は23.0% ⇒ 否定的な意見は約2割

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

問5～回答内訳

<調査結果>

【年代別】



- 20代と30代では、肯定的な意見が6割を超えており、それ以外の年代に比べて高い

<調査結果>

【地区別】



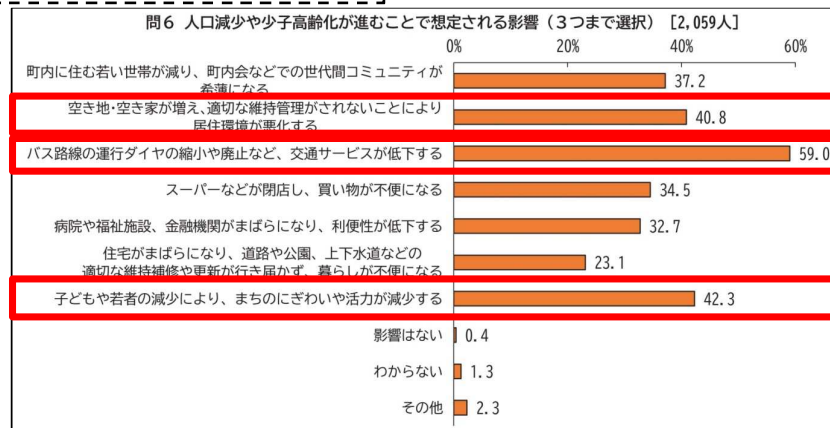
- 野幌地区では、肯定的な意見が約7割を占めており、それ以外の地区に比べて高い

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

問6 今後、人口減少や少子高齢化が進むことで、想定される影響についてお伺いします。
あなたのお考えにあてはまるものを3つまで選んで番号に○印を付けてください。

<調査結果>



- 「バス路線の運行ダイヤの縮小や廃止など、交通サービスが低下する(59.0%)」が最も高い
- 「子どもや若者の減少により、まちのにぎわいや活力が減少する(42.3%)」、「空き地・空き家が増え、適切な維持管理がされないことにより居住環境が悪化する(40.8%)」が続いて高い

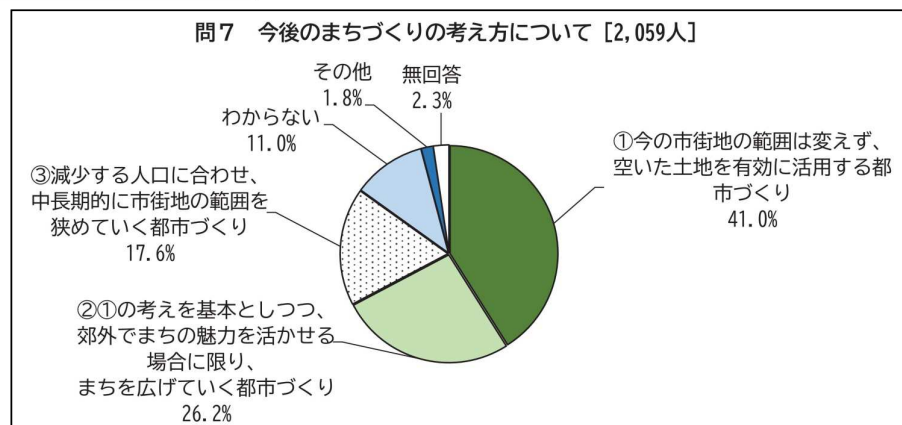
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

問7 今後は、人口減少が想定されるため、より効率的で持続可能な都市運営が求められます。
そこで、今後の都市づくりの考え方について、あなたのお考えに一番近いものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

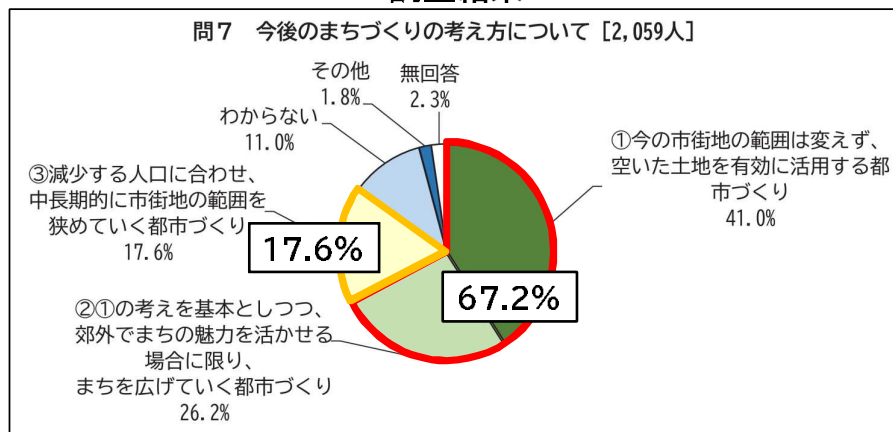
1. 今の市街地の範囲は変えず、空いた土地を有効に活用する都市づくり
2. 上の「1」を基本としつつ、郊外でまちの魅力を活かせる場合に限り、まちを広げていく都市づくり
3. 減少する人口に合わせ、中長期的に市街地の範囲を狭めていく都市づくり
4. わからない
5. その他（具体的に：)

<調査結果>



■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<調査結果>



- 「①の都市づくり(41.0%)」と「②の都市づくり(26.2%)」を合計すると67.2%
⇒ 回答者の約7割が基本的には“まちの範囲を変えない”
- 「③の都市づくり」は 17.6%
⇒ 回答者の約2割は“まちを縮小すべき”

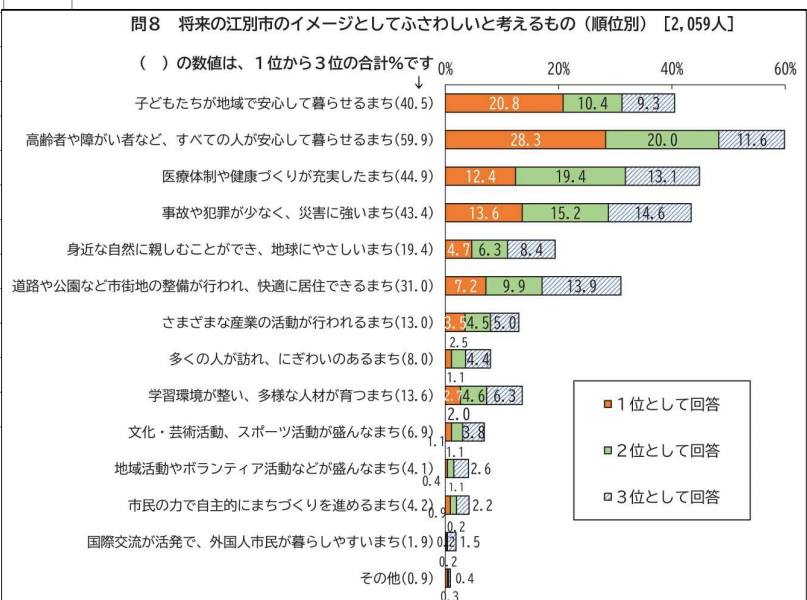
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

問8 あなたが望む将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるものを
1位から3位まで選んで一番右の枠の中に、順位(1・2・3)を書いてください。

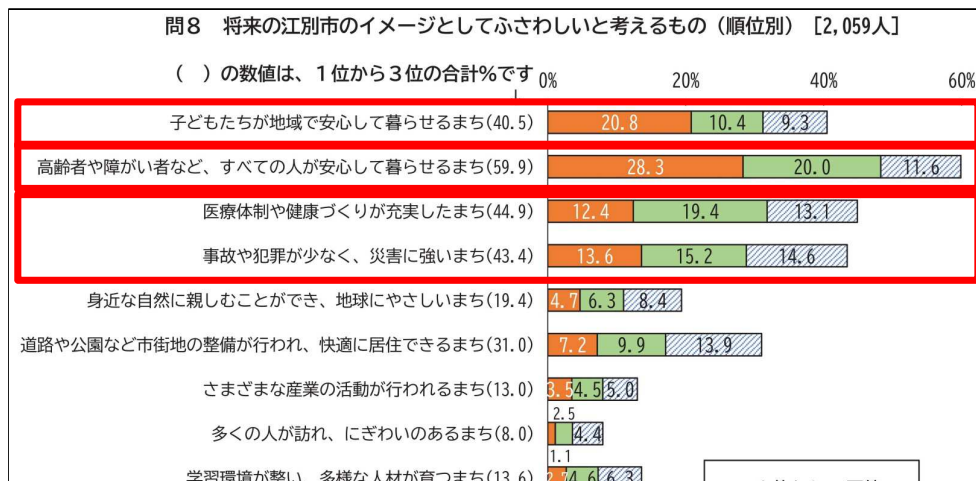
キーワード	内 容	順位 (1・2・3)
子育て	子どもたちが地域で安心して暮らせるまち	
福祉	高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせるまち	
健康	医療体制や健康づくりが充実したまち	
安全	事故や犯罪が少なく、災害に強いまち	
環境	身近な自然に親むことができ、地球にやさしいまち	
インフラ	道路や公園など市街地の整備が行われ、快適に居住できるまち	
産業	さまざまな産業の活動が行われるまち	
観光	多くの人が訪れ、にぎわいのあるまち	
教育	学習環境が整い、多様な人材が育つまち	
文化・スポーツ	文化・芸術活動、スポーツ活動が盛んなまち	
市民活動	地域活動やボランティア活動などが盛んなまち	
市民自治	市民の力で自主的にまちづくりを進めるまち	
国際交流	国際交流が活発で、外国人市民が暮らしやすいまち	
その他	(具体的に:)	

<調査結果>



■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<調査結果>



- 「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせるまち（合計59.9%）」が最も高い
- 続いて高いのは「医療体制や健康づくりが充実したまち（合計44.9%）」、「事故や犯罪が少なく、災害に強いまち（43.4%）」、「子どもたちが地域で安心して暮らせるまち（40.5%）」

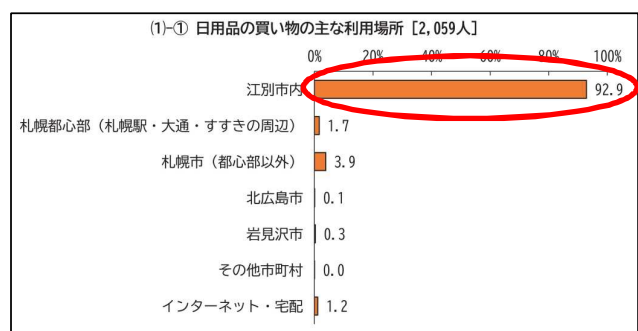
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

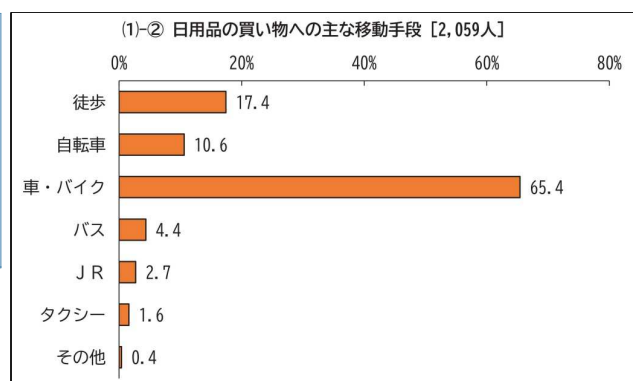
問25 買い物や病院への通院について、最も多いと思う内容をそれぞれ1つずつ選んで番号に○印を付けてください。

日用品の 買い物	主な 利用場所	1. 江別市内 2. 札幌都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺) 3. 札幌市(都心部以外) 4. 北広島市 5. 岩見沢市 6. その他市町村 () 7. インターネット・宅配
	主な 移動手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. 車・バイク 4. バス 5. JR 6. タクシー 7. その他 ()
病院	主な 利用場所	1. 江別市内 2. 札幌都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺) 3. 札幌市(都心部以外) 4. 北広島市 5. 岩見沢市 6. その他市町村 ()
	主な 移動手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. 車・バイク 4. バス 5. JR 6. タクシー 7. その他 ()

<調査結果>

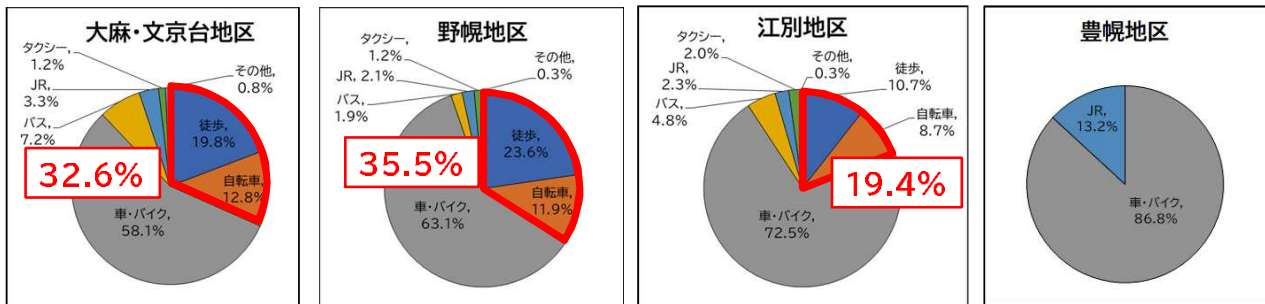


- ほとんどの回答者は、江別市内で日用品の買い物をして



■ まちづくり市民アンケート調査結果について

「日用品の買い物への主な移動手段」の各地区の調査結果



- どの地区も自家用車等の割合が高い(50%以上)
- 「大麻・文京台地区」と「野幌地区」は、他の地区と比較して「徒歩・自転車」の割合が高い

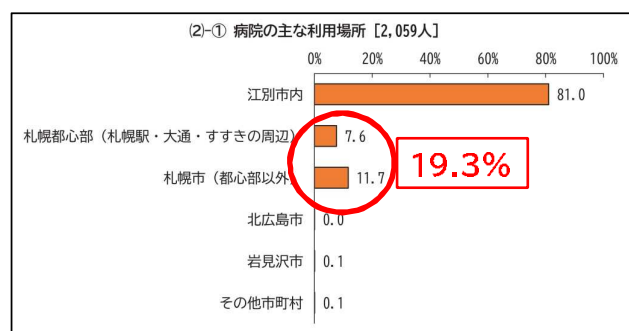
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<設 問>

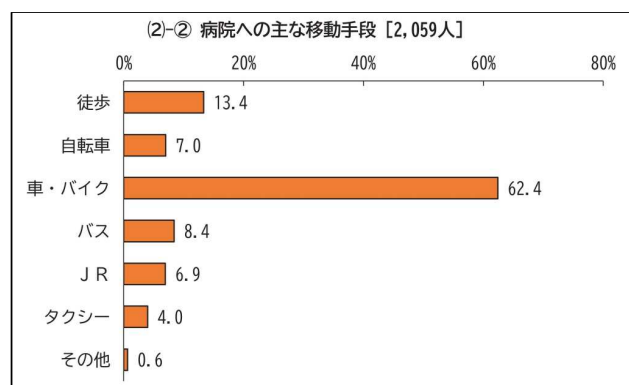
問25 買い物や病院への通院について、最も多いと思う内容をそれぞれ1つずつ選んで番号に○印を付けてください。

日用品 の 買い物	主な 利用場所	1. 江別市内 2. 札幌都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺) 3. 札幌市(都心部以外) 4. 北広島市 5. 岩見沢市 6. その他市町村 () 7. インターネット・宅配				
	主な 移動手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. 車・バイク 4. バス 5. JR 6. タクシー 7. その他 ()				
病院	主な 利用場所	1. 江別市内 2. 札幌都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺) 3. 札幌市(都心部以外) 4. 北広島市 5. 岩見沢市 6. その他市町村 ()				
	主な 移動手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. 車・バイク 4. バス 5. JR 6. タクシー 7. その他 ()				

<調査結果>



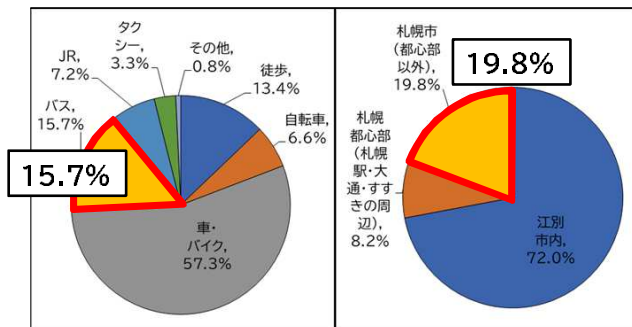
- 約2割の回答者が、札幌市の病院を利用している
(日用品は1割未満)



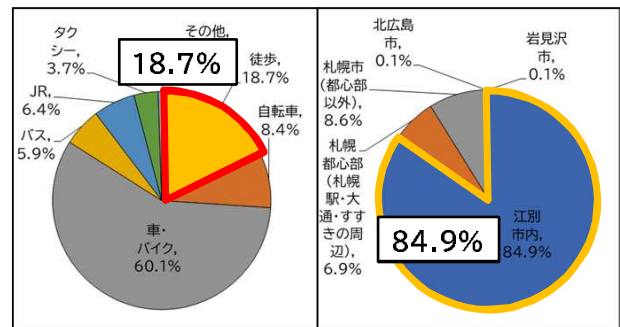
■ まちづくり市民アンケート調査結果について

「病院への主な移動手段と利用場所」の各地区の調査結果

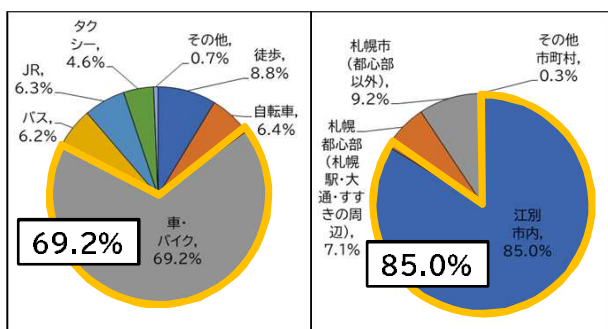
<大麻・文京台地区>



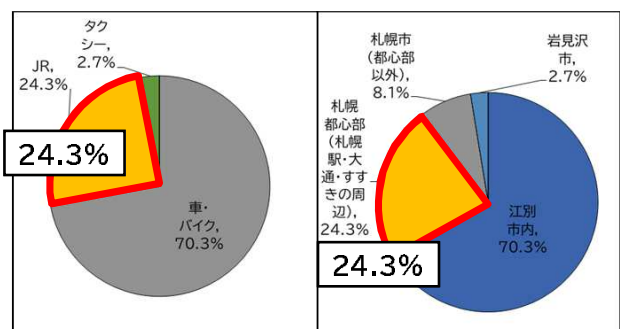
<野幌地区>



<江別地区>



<豊幌地区>



【大麻・文京台地区】

- 移動手段は他地区と比較して「バス」が多く、利用場所は「札幌市(都心部以外)」が多い

【野幌地区】

- 移動手段は「徒歩」が多く、利用場所は「江別市内」が多い

【江別地区】

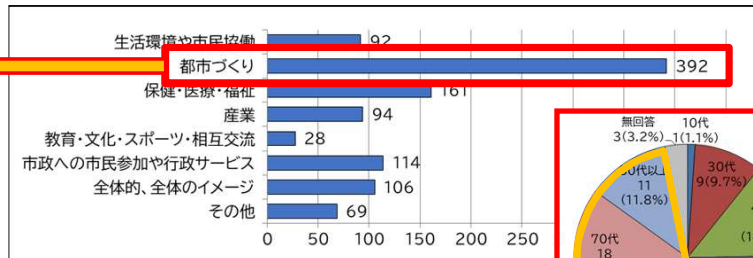
- 移動手段は「車・バイク」が多く、利用場所は「江別市内」が多い

【豊幌地区】

- 移動手段は「JR」が多く、利用場所は「札幌都心部」が多い

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

<自由意見の大項目の分類>

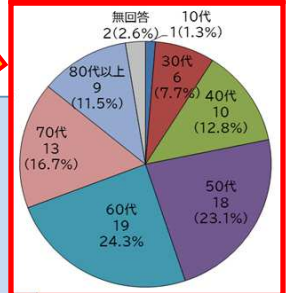
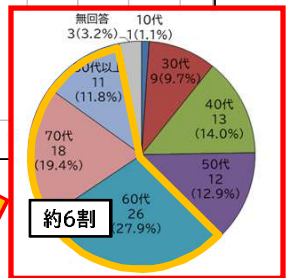


自由意見の中項目の分類(都市づくり)



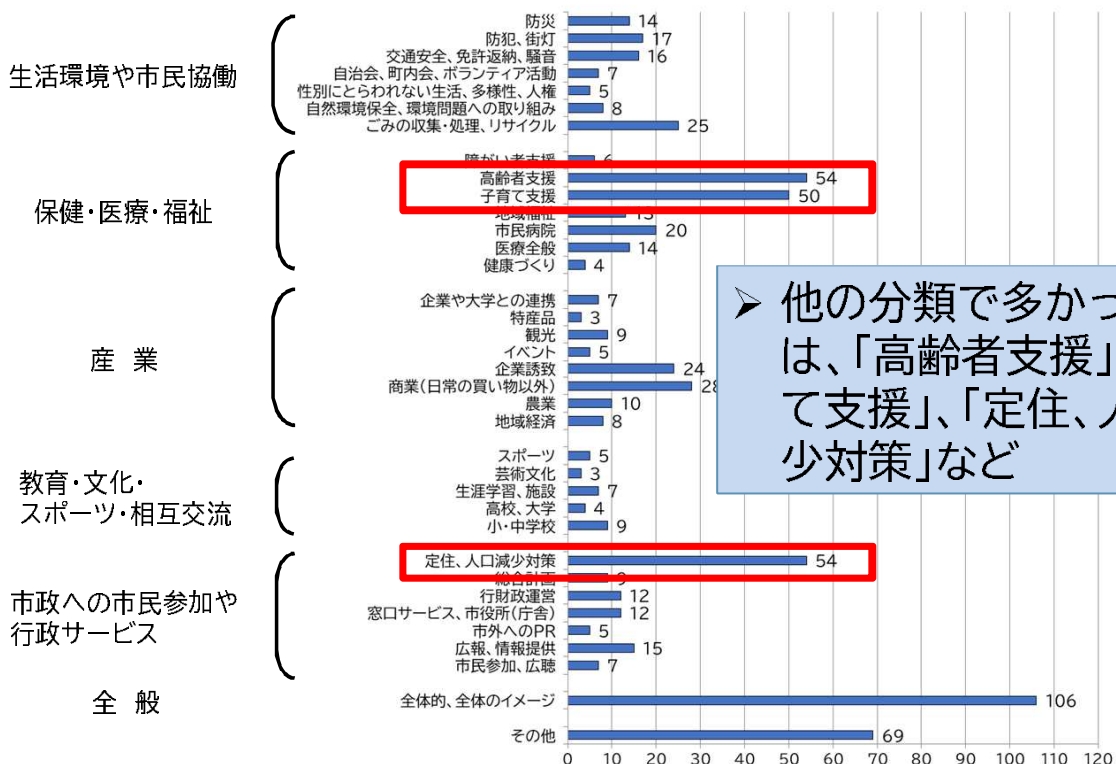
➤ 自由意見では、「都市づくり」に関する意見が突出して多い

➤ その中でも、「公共交通」や「駅前のにぎわい」に関する意見が半数近く



■ まちづくり市民アンケート調査結果について

自由意見の中項目の分類(都市づくり以外)



➤ 他の分類で多かった意見は、「高齢者支援」、「子育て支援」、「定住、人口減少対策」など

■ まちづくり市民アンケート調査結果について

～アンケート結果まとめ～

- 住み心地に不満がある人は少なく、定住意向が高い
- 買い物や公園など住環境に満足している人が多い
- 注目度が高い「公共交通機関」や「駅周辺のにぎわい」に対する満足度は低く、将来的な人口減少などにより、それらに対して不安を感じている人も多い
- 移動手段や利用場所に関する回答から、地区ごとの移動傾向が大まかに表れている
- 現行計画のコンパクトなまちづくりを踏襲しつつ、子供から高齢者等すべての人が暮らしやすいまちづくりが求められている